

環境活動レポート

(期間：第53期 平成24年9月1日～平成25年8月31日)



(グリーンカーテン作り)

平成25年12月13日発行

1 環境方針

三栄産業株式会社は、次の環境方針に基づき環境保全活動に取り組んでいます。

環境方針 三栄産業株式会社

「三者繁栄」すなわち都市環境の向上に奉仕する当社の総合ビル管理事業を通じて

第一に お客様の繁栄に寄与することを念じ

第二に その結果、当社の経営にも好影響が生まれてくれば

第三に 従業員にも幸せが訪れてくる。

この思いを実現するため、お客様に信頼していただき、継続して仕事をさせていただくことが基本となる。その中で深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇といった人類共通の重要課題にも積極的に対応していきたい。

これらの考えを基に当社の環境方針を次のようにする。

当社の事業活動のあらゆる面で環境負荷の低減を図るのはもちろんのこと、環境保全につながるサービスや商品の提供にも力を入れ、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組めます。

- ①電気・水道の使用量を削減します。
- ②ゴミの排出量を削減し、再資源化を促進します。
- ③ガソリン・軽油の消費量を削減します。
- ④環境負荷の少ないサービスや商品をお客様に提案いたします。
- ⑤グリーン購入を推進します。
- ⑥地域社会に向けて環境啓発活動を行います。

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：平成20年10月20日

改訂日：平成23年 9月30日

代表取締役 **米山 民男**

2 事業の概要（認証登録の範囲）

(1) 事業者名および代表者氏名

三栄産業株式会社
代表取締役 米山 民男

(2) 対象事業所

本社 〒730-0011 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル
西営業所 〒733-0035 広島市西区南観音七丁目6番22号

指定管理施設（契約期間）

佐伯運動公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
寺迫公園（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
広島市営駐車場（横川駐車場）（平成22年4月1日～平成27年3月31日）
広島市出島福祉センター（平成21年12月10日～平成26年3月31日）
広島市南観音老人福祉センター（平成22年4月1日～平成26年3月31日）
広島市筒瀬福祉センター（平成23年5月18日～平成26年3月31日）
広島市伴福祉センター（平成24年3月1日～平成26年3月31日）

(3) 環境管理関係者の連絡先

環境管理責任者 : 米山 真和（常務取締役）
環境事務局担当 : 今城 透雄（西営業所 クリーン事業部）
連絡先 : ☎082-232-0533 (<http://www.3ei-kk.com/>)

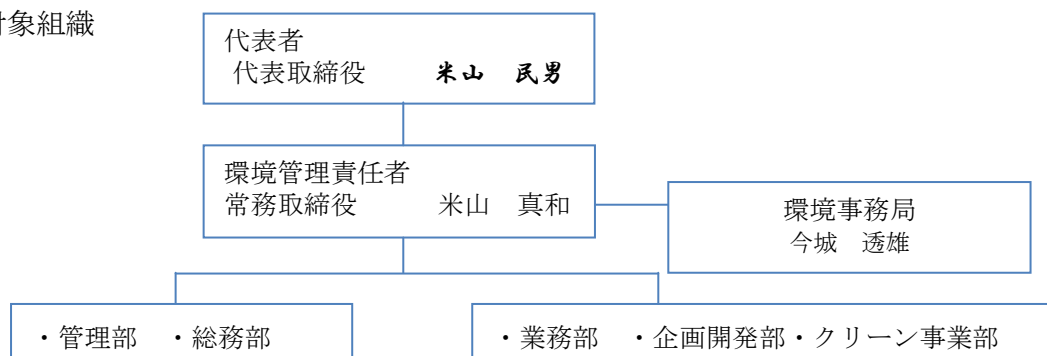
(4) 主な事業内容

ビルメンテナンス、警備保障、公共施設等の管理運営、建物リフォーム
設備機器メンテナンス

(5) 事業の規模

売上高 1,365百万円（第53期・平成25年8月）
従業員数 442人（平成25年・9月）
床面積 411㎡（平成25年・9月）

(6) 対象組織



3 環境目標（54期見直し前）

項目 【基準】	第53期 (H24.9~H25.8)	第54期 (H25.9~H26.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△1% 33,321kg-CO ₂ 45,771kWh	△2% 32,984kg-CO ₂ 45,308kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ	△6% 86,162 kg-CO ₂ 24,881ℓ 10,853ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+18% 11.64 km/ℓ	+4% 10.26 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	3件/年	3件/年
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年
一般廃棄物の削減 【第51期 394 kg】	△2% 386kg	△2% 386kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△26% 200 m ³	△27% 197 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	6か所/年	3か所/年

電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の排出係数 0.728 を使用する。

4 環境目標の実績

第53期の環境目標達成状況【期間：平成24年9月～平成25年8月】

項目	目標値	実績	評価
電力の二酸化炭素排出量の削減	33,321kg-CO ₂ 45,771kWh	29,391kg-CO ₂ 40,372kWh	○
ガソリンと軽油使用量の削減	87,078 kg-CO ₂ ガソリン 25,146ℓ 軽油 10,969ℓ	87,603kg-CO ₂ ガソリン 29,897ℓ 軽油 6,961ℓ	×
(参考) CO ₂ 排出量	122,569kg-CO ₂	116,994kg-CO ₂	○
自動車の燃費向上	11.64 km/ℓ	12.18 km/ℓ	○
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する	3件/年	3件/年	○
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年	○

項目	目標値	実績	評価
一般廃棄物の削減	386kg	366kg	○
水道使用量の削減	200 m ³	184 m ³	○
地域社会に向けた環境啓発活動	6 か所/年	6 か所/年	○

電気の二酸化炭素排出量は中国電力㈱の排出係数 0.728 を使用する。

5 環境活動の取り組み内容と結果の評価および次期への取り組み

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
電力の二酸化炭素排出量の削減 ・ 不要照明の消灯 ・ クール・ウォームビズ運動 ・ 外出時のPCの電源OFF ・ 冷房28℃、暖房20℃	蛍光灯LED化、冷暖房の適正化、不要照明の節約など各種の取組が功を奏し、電力使用量・Co2排出量とも目標を達成できている。 目標を上方修正しさらなる電気使用量とCo2削減を図りたい。
ガソリンと軽油使用量の削減 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	社員の増加や拠点の増加に伴い保有台数が増えていることから基準年よりガソリン使用量は増加している。 しかし、軽油使用量が減少していること、社用車の燃費向上やエコドライブの周知徹底など、改善すべき点は改善されている。 目標は据え置き、改善を図りたい。
自動車の燃費向上 ・ アイドリングストップ ・ 急加速、急停車の防止 ・ 冷暖房の控え目使用	エコドライブの周知徹底に加え、燃費性能が向上した社用車の導入などの要素も重なり全体としては順調に推移し、好成績を収めることが出来た。 目標を更に上方修正し、さらなる燃費改善を図りたい。
環境負荷の少ない商品やサービスを提供する ・ 省エネ対応機器（照明等）の取替工事	清掃・設備運営の委託を受けている施設の運営者に対してLED誘導灯を提案し切替を実施、目標は達成したが充分とは言いがたい。
グリーン購入の推進 ・ 消耗品は環境に配慮したものに切替える	コピー用紙を環境配慮品に切り替えたため目標は達成しているが、年間1件のため充分とは言いがたい。
一般廃棄物の削減 ・ ミスコピーの防止 ・ 印刷前確認の励行 ・ 古紙のリサイクル化 ・ 4R活動の推進	3月から5月にかけての廃棄量の増加があったものの、全体としては分別の意識やゴミ削減の理解が進み、目標値を達成できている。 目標を上方修正し、排出抑制、4Rの意識づけを更に進め、さらなる排出量の削減を図りたい。
水道使用量の削減 ・ 節水呼びかけ	目標値を16m ³ 下回る実績を達成できた。各人の節水意識の徹底がきちんとされている。 数値的には限界に近いところまで削減がなされている

取組内容	結果の評価と次期の取り組み内容
	が、今後もこの水準を維持継続していくため、節水の意識付けを継続させたい。
地域社会に向けた環境啓発活動 ・グリーンカーテンの作成 ・エコスタックの作成 ・エコキャップ運動	エコキャップ・エコスタック・グリーンカーテンのいずれも各拠点において定着している。 今後も継続しつつ新たな取組についても検討したい。

6 代表者による全体の評価と見直し

環境経営システムは概ね有効に機能している。

「自動車燃費の向上」「電力の二酸化炭素排出量の削減」「廃棄物の削減」「水道使用量」に関しては、目標を上回る数字で達成できたので次期は目標を上方修正することにする。

7 環境関連法規への違反、訴訟などの有無

適用される主な環境関連法規制：廃棄物処理法

環境関連法規制等の順守状況の定期評価の結果、環境関連法規制等の逸脱はなかった。

また、関係機関などからの指摘、利害関係者からの訴訟もなかった。

8 第54期以降の環境目標（見直し後）

項目 【基準】	第53期 (H24.9~H25.8)	第54期 (H25.9~H26.8)	第55期 (H26.9~H27.8)
電力の二酸化炭素排出量の削減 【第48期 33,658kg-CO ₂ 】 【第48期 46,233kWh】	△1% 33,321kg-CO ₂ 45,771kWh	△13% 29,282kg-CO ₂ 40,222kWh	△13% 29,282kg-CO ₂ 40,222kWh
ガソリンと軽油使用料の削減 【第48期 91,661 kg-CO ₂ 】 【第48期 ガソリン 26,469ℓ】 【第48期 軽油 11,546ℓ】	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ	△5% 87,078 kg-CO ₂ 25,146ℓ 10,969ℓ
自動車燃費の向上 【第50期 9.87 km/ℓ】	+18% 11.64 km/ℓ	+25% 12.34 km/ℓ	+25% 12.34 km/ℓ
環境負荷の少ないサービスや商品を提供する	3件/年	3件/年	3件/年
グリーン購入の推進	1件/年	1件/年	1件/年

項目 【基準】	第53期 (H24.9~H25.8)	第54期 (H25.9~H26.8)	第55期 (H26.9~H27.8)
一般廃棄物の削減 【第51期 394kg】	△2% 386kg	△8% 362kg	△8% 386kg
水道使用量の削減 【第48期 270 m ³ 】	△26% 200 m ³	△27% 197 m ³	△27% 197 m ³
地域社会に向けた環境啓発活動	6か所/年	6か所/年	6か所/年

9 各現場での環境活動

当社では各現場の従業員に一般的な環境に対する自覚を高める教育を定期的実施し、二酸化炭素、廃棄物、水使用量の削減を意識したサービスの提供を行うのはもちろんのこと、様々な形で環境啓発や環境負荷の低減につながる活動を行なっています。

※従業員に対しての各種教育（清掃研修・接遇講習・あいサポート研修など）の実施



※エコカーテン設置



